日本の木造住宅を

# SYSTEM

**Base Type** 



地震時の減衰効果10~30%に加え

### 交通震動でも絶大の効果

震度2(65~75dB)の揺れを

#### 震度O(55dB)以下に!

振動規制法 住宅地夜間振動規制レベル

これがMER-SYSTEM Base Type 「ゆれな~い」です。

⋒ 日本制震システム株式会社

### ハフィールド検証レポー



#### シチュエーション項目

2017年9月28日 測定日

曇りのち晴れ

東京都立川市錦町 新築一戸建 2 階層

JR 南武線 JR 立川駅⇔JR 西国立駅間

JR 南武線 線路より約 10m

MERsystem ベースタイプ、ピロータイプ

測定器 3 台使用。10 分間作動のファイルを作成し時刻

毎にデータ収集。

データは 10 分間の中での最大値を計上し各時刻毎に比較。



検証 2 12:32~12:42

検証3 12:42~12:52

	•	00.0		
)	低減差異	0.0		
	Z	70.2		
	低減差異	0.0		
2	X	66.0		
	低減差異	0.0		
	Υ	68.1		
	低減差異	0.0		
	Z	69.7		
	低減差異	0.0		
	X	66.0		
	低減差異	0.0		
2	Υ	67.8		
	低減差異	0.0		
	Z	69.1		
	低減差異	0.0		
下線距離の誤差となります。				

※時間帯による数値誤差は側点からの上

<b>測定点</b> I(建物 1階)	測定点皿(建物2階)
47.1	48.7
-21.1	-19.5
53.9	52.9
-15.6	-16.6
62.1	63.9
-8.1	-6.3
46.6	53.3
-19.4	-12.7
54.5	52.9
-13.6	-15.2
62.7	64.8
-7.0	-4.9
46.4	54.0
-19.6	-12.0
55.0	53.1
-12.8	-14.7
63.3	65.0
-5.8	-4.1
	単位・dB

単位:dB



## 外部震度 2 から、 建物の中は **XY 方向で震度 [O] Z 方向で震度 [1] に**

#### 振動の目安

階級	振動レベル 単位:dB	人間の感覚	屋内の状況
0	55 以下	人は揺れを感じない。	
1	55~65	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。	
2	65~75	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。
3	75~85	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。
4	85~95	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。
5弱	95~105	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、本棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。
5強	95~105	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。
6弱	<b>⊣</b> 105~110	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
6強		立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。
7	110以上	揺れに翻弄され、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。

\*\*デシベルとは、振動の大きさの単位で、物理的な振動の強さ(振動加速度レベル)に人の体感に合わせて周波数補正を加味したもの。
\*\*震度階級とは、揺れの強さの程度を数値化した計測震度から換算したもの。

資料: 気象庁・環境省



